

ammo::lyser™

(アンモライザ)



イオン選択電極式 (水温・pH・カリウム補正)

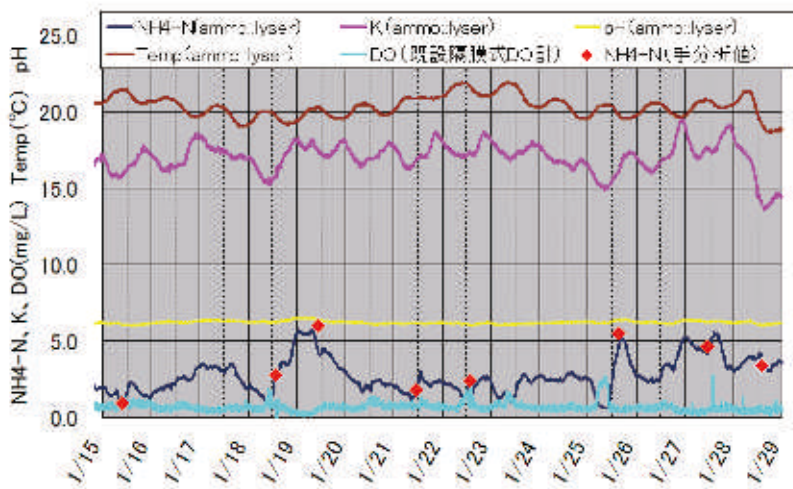


アンモライザ電極部

- ①イオン選択電極式のアンモニア性窒素の連続測定器です。
- ②試料水をサンプリングせずに、直接浸漬・連続測定が可能です。
- ③水温、pH及びカリウム濃度を同時測定し、アンモニア性窒素濃度を算出します。
- ④夾雑物を含む試料でも、前処理せずに測定可能です。
- ⑤0.1～1000mg/Lまで広範囲で測定が可能です。測定範囲は校正によって任意に決定できます。

優れた測定結果

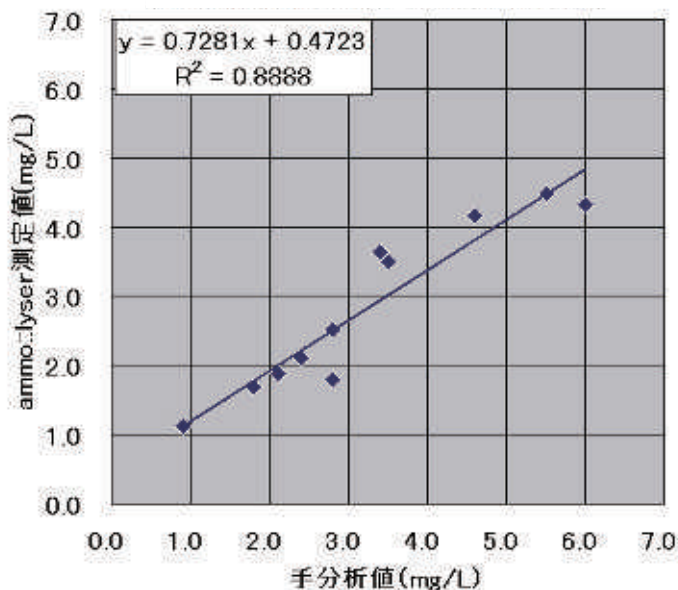
アンモニア性窒素測定のトレンドデータ



- ①下水処理場にてアンモニア性窒素を連続測定した結果、影響を受けるpH・カリウム・水温の補正をすることで、手分析値と同等の結果となりました。
- ②従来のDO制御では、水質変動時に過ばっ気状態になり易く、アンモニア性窒素を直接測定することで、過ばっ気を解消し、電気代の削減につなげられます。

高い相関性

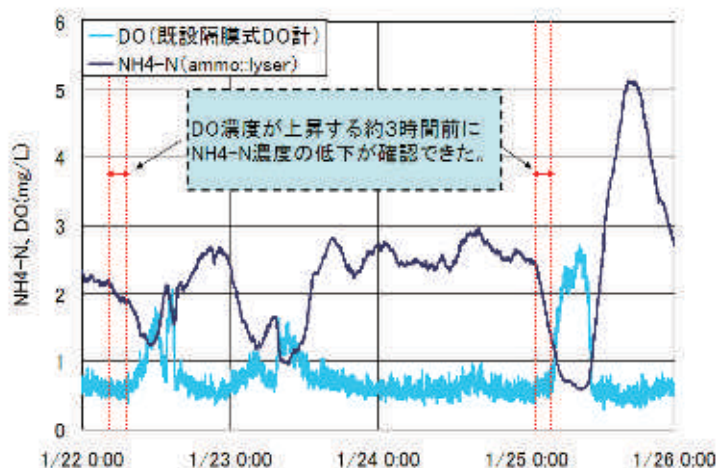
アンモニア性窒素測定的相关



左のグラフは、実際に下水処理場にてアンモニア性窒素を連続的に測定した際の手分析値と測定値の相関となります。決定係数が、約0.89と高い結果が得られ高い相関が確認されました。

※手分析値は、インドフェノール法です。

アンモニア性窒素制御の優位性



アンモニア性窒素とDOのトレンドグラフ

- ①下水処理場では、好気処理(生物反応)の送気のために、処理場全体の電力使用量の約4割が使われていると言われています。
- ②トレンドグラフを見ると、アンモニア性窒素濃度がDO濃度の上昇する前に低下していることが解りました。
- ③DO制御では約3時間もの間、空気を送り込むために無駄な動力を使用することになります。
- ④アンモニア性窒素制御に変更することで、過ばっ気状態を無くし、電力使用量の削減が期待できます。

日本総販売元

荏原実業株式会社 計測器・医療本部 計測器営業部

<http://www.ejooo.com>

□東日本営業課 ej-ozone@ejk.co.jp

〒215-0033 神奈川県川崎市麻生区栗木2-3-12 環境計測技術センター
TEL : 044-981-0560 FAX : 044-981-0561

□西日本営業課 ozon-osaka@ejk.co.jp

〒541-0046 大阪市中央区平野町3-2-13 平野町中央ビル5F
TEL : 06-6231-3528 FAX : 06-6231-2929